## 平成27年度 食品の安全性に関する有害化学物質の サーベイランス・モニタリング年次計画

- (1) サーベイランス及びモニタリングは、農林水産省が定めた「サーベイランス・モニタリングの計画・実施及び 結果の評価・公表に関するガイドライン」に基づいて実施する。
- (2) サーベイランス及びモニタリングの実施に当たって、有害化学物質リスク管理基礎調査事業により分析を委託する場合は、精度管理を行うこと及び妥当性が確認された分析法を用いること等を条件として競争入札を行い、分析機関を選定する。
- (3) 危害要因を含有する可能性がある食品又は飼料の範囲が分からない場合や、十分なデータが存在せず、 汚染状況が不明な場合は、予備調査を実施する。

## (サーベイランス)

(サーベイラン) 危害要因	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	最低調査点数
ヒ素	国内の水田土壌及び同水田で生産されるコ メ中のヒ素の含有実態を詳細に把握。	土壌	1,000
		玄米	1,000
		精米(上記玄米を精白したもの)	1,000
	卸段階におけるコメ中ヒ素の含有実態を把握。	玄米	300
		精米(上記玄米を精白したもの)	300
	ダイオキシン対策推進基本指針に基づき、 水産物について含有実態を把握。	ウナギ	20
		カタクチイワシ	20
ダイオキシン		コノシロ	20
		スズキ	20
	畜産物の残留の主要な経路である飼料に ついて実態を把握。	動物性油脂、魚油、魚粉等	検討中
デオキシニバ レノール (DON)及びア セチル体(3- アセチル DON、15-アセ チルDON)	リスク管理措置の有効性を検証するため、 国産麦類における全国的な含有実態(DON	小麦	120
	とアセチル体の比率) 及び年次変動を把握。	大麦	100
	国産豆類(ササゲ属及びインゲンマメ属)に ついて、全国的な含有実態を把握し、リスク 管理措置の必要性を検討。	小豆	100
		いんげん	100

危害要因	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	最低調査点数
DON-3グルコ シド	(予備調査) 国産麦類について、全国的な含有実態 (DONやアセチル体との比率、相関)を予備 的に把握し、年次変動の把握を含めた本調 査の必要性を検討。	小麦	120
		大麦	100
	リスク管理措置の有効性を検証するため、 国産麦類における全国的な含有実態(NIVと アセチル体の比率)及び年次変動を把握。	小麦	120
ニバレノール (NIV)及びア		大麦	100
セチル体(4- アセチルNIV)	(予備調査) 国産豆類(ササゲ属及びインゲンマメ属)に ついて、全国的な含有実態を予備的に把握 し、リスク管理措置の必要性を検討。	小豆	100
		いんげん	100
	国産麦類について、全国的な含有実態及び 年次変動を把握し、リスク管理措置の必要 性を検討。	小麦	120
ゼアラレノン		大麦	100
セアフレノン	国産豆類(ササゲ属及びインゲンマメ属)に ついて、全国的な含有実態を把握し、リスク 管理措置の必要性を検討。	小豆	100
		いんげん	100
T-2トキシン及 びHT-2トキシ ン	国産麦類について、全国的な含有実態及び 年次変動を把握し、リスク管理措置の必要	小麦	120
	性を検討。	大麦	100
	国産豆類(ササゲ属及びインゲンマメ属)について、全国的な含有実態を把握し、リスク管理措置の必要性を検討。	小豆	100
		いんげん	100

危害要因	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	最低調査点数
ジアセトキシ スシルペノー ル	(予備調査) 国産麦類について、全国的な含有実態を予備的に把握し、年次変動の把握を含めた本調査の必要性を検討。	小麦	120
		大麦	100
	(予備調査) 国産豆類(ササゲ属及びインゲンマメ属)に ついて、全国的な含有実態を予備的に把握 し、本調査の必要性を検討。	小豆	100
		いんげん	100
アフラトキシン	(予備調査) 国産米について、全国的な含有実態を予備 的に把握し、現行のリスク管理措置の有効 性や新たなリスク措置の必要性を検討。	玄米、精米	検討中
	(予備調査) 国産大麦について、全国的な含有実態を予備的に把握し、現行のリスク管理措置の有効性や新たなリスク管理措置の必要性を検討。	大麦	検討中
オクラトキシン A	国産米について、全国的な含有実態を把握 し、現行のリスク管理措置の有効性や新た なリスク管理措置の必要性を検討。	玄米、精米	検討中
	(予備調査) 国産大麦について、全国的な含有実態を予備的に把握し、現行のリスク管理措置の有効性や新たなリスク管理措置の必要性を検討。	大麦	検討中
ステリグマトシ スチン	(予備調査) 国産米について、全国的な含有実態を予備 的に把握し、現行のリスク管理措置の有効 性や新たなリスク措置の必要性を検討。	玄米、精米	検討中
	(予備調査) 国産大麦について、全国的な含有実態を予備的に把握し、現行のリスク管理措置の有効性や新たなリスク措置の必要性を検討。	大麦	検討中

危害要因	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	最低調査点数
フモニシン	(予備調査) 国産米について、全国的な含有実態を予備 的に把握し、年次変動の把握を含めた本調 査の必要性を検討。	玄米、精米	検討中
ピロリジジン アルカロイド	(予備調査) 国産農産物について、含有実態を予備的に 把握し、リスク管理の必要性を検討。	ふき	検討中
アクリルアミド	主要食品に含まれるアクリルアミド濃度の傾向を把握。	ポテトスナック	120
		フライドポテト	120
		含みつ糖	120
		パン類	120
トランス脂肪酸	国内で流通している加工油脂中のトランス 脂肪酸及び飽和脂肪酸の最新の実態を把 握。	クリーム類(植物性脂肪を含むも の)、食用植物油脂	150
ヒスタミン	農産物漬物のフードチェーンの各工程においてヒスタミン低減対策を講じる必要があるかを検討するため、含有実態を調査。	農産物漬物	300

## (モニタリング)

危害要因	調査の趣旨	具体的な 調査対象品目	最低調査点数
カドミウム	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)、乾牧草等	検討中
総水銀	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)、乾牧草等	検討中
鉛	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、動物性飼料(魚粉、肉骨粉等)、乾牧草等	検討中
アフラトキシン (AF)	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、トウモロコシ、その他の飼料原料	検討中
ゼアラレノン	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、主要穀類等	検討中
デオキシニバレノール	飼料の残留基準値への適合を確認するため実施。 モニタリングの結果は、残留基準値の見直 しに活用。	配合飼料、主要穀類等	検討中